

2017年10月3日

[明石市教育長への要求書]

明石市労働組合連合会
明石市臨時・非常勤ユニオン

学校給食臨時調理支援員に関する要求書

日々、ご健勝のことと存じます。

平素は、臨時調理支援員に対しましては労働条件改善にご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、私たちの小学校給食職場においては、臨時調理支援員が定数に入り、恒常的に正規職員と同じ調理業務をこなしています。

2016年4月からはプール要員も担い、また、アレルギー対応など日々安全で美味しい給食を作るためには今まで培ってきた豊富な経験と知識を持った臨時調理支援員は給食職場になくてはならない人材となっています。

しかし、臨時調理支援員の雇用形態は新臨時職員制度が導入され、3年雇用となりました。民間委託が進められている中では次の雇用があるのかもわからず、常に不安が付きまといまいます。

子どもたちへより良い給食を提供するためには、安心して働くことができる雇用の安定と、意欲を持って働くことができる労働条件が必要です。

よって、下記のとおり安定した雇用継続と労働条件改善を組合員の総意を持って要求します。

尚、回答につきましては10月12日までに、誠意を持って文書にてお願いします。もし、誠意が見られない場合は、市労連をはじめ明石市臨職ユニオンの総力を挙げてたたかうことを申し添えます。

記

1. 臨時調理支援員を全員正規職員とすること。
2. 正規職員に至るまでは全員を学校給食従事員として雇用すること。

